

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 大
 コード番号 9903 URL <http://www.kanseki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日~平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	15,627	△2.7	771	△16.1	564	△26.1	328	0.0
24年2月期第2四半期	16,062	7.6	919	61.4	763	92.0	328	93.6

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 323百万円(△0.8%) 24年2月期第2四半期 326百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	22.18	—
24年2月期第2四半期	22.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	26,135	4,928	18.9
24年2月期	26,338	4,642	17.6

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 4,928百万円 24年2月期 4,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日~平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△2.1	950	△17.3	600	△26.6	330	△47.2	22.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	16,100,000株	24年2月期	16,100,000株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	1,295,800株	24年2月期	1,295,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	14,804,200株	24年2月期2Q	14,804,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。また、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から、一部で復興需要を背景とした景気回復が見られるものの、景気全体の底上げにはいたっておりません。欧州債務危機に端を発した経済危機は、長期化する円高や株価の低迷に深く影響しております。国内では、依然として電力供給への不安、消費税増税などの新たな負担増などにより、経済動向の先行き不透明な状況が続いております。

そうした中、当社グループにおける第2四半期連結累計期間は、昨年の震災による復旧修理特需現象から平常へと戻ったため、前期と比較し、売上、利益面などに反動減が見受けられましたが、利益面では、当初の業績予想を上回る状況で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における、売上高は156億27百万円(前年同四半期比2.7%減)、営業利益は7億71百万円(前年同四半期比16.1%減)、経常利益5億64百万円(前年同四半期比26.1%減)、特別損失に固定資産除却損9百万円及び投資有価証券評価損3百万円を計上し、その結果、四半期純利益は3億28百万円(前年同四半期比0.0%増)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、商圈地域内において、震災に関わる需要が落ち着いたことにより、前期と比較して売上、利益面に反動減が生じております。春先の低温とは逆に、夏場は猛暑となるなど、天候の影響を受ける中、前年と比較して植物・園芸関連商品が売上を底上げし、すだれなどの夏物商品も順調に売上を伸ばしました。加えて前年同様、木材・塗料・金物工具などの住宅関連商品の売上も堅調であり、業績は、計画通りに推移しております。

これらの結果、営業収益は99億24百万円(前年同四半期比4.4%減)、セグメント利益は4億72百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業においては、春先からの低温の影響で、春物商品の出足が遅れましたが、ファミリー層を中心にキャンプ用品が昨年に引き続き好調を維持し、夏場のレジャーに向けた新規のお客様を取り込むなど順調に推移いたしました。業績は、売上、利益ともに計画を上回って推移しております。

これらの結果、営業収益は32億95百万円(前年同四半期比1.4%減)、セグメント利益は3億32百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、業務スーパー店舗において、昨年来からの客数増加傾向や、新規のお客様の固定化策などにより、好調を堅持しております。平成24年6月に12店舗目となる業務スーパー西那須野店（栃木県那須塩原市）を出店いたしました。開店後、順調に推移しております。オフハウス店舗においては、猛暑により、メンズ・レディースウェアなどの夏物衣料が好調に推移し、売上を牽引するとともに、店舗ごとに販売促進活動を積極的に推進し、ブランドバッグ・家電品・家具などを中心とした販売が好調でありました。

これらの結果、営業収益は26億円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は1億30百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通りに安定した利益を上げております。

店舗開発事業における営業収益は4億5百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益は90百万円（前年同四半期比12.2%増）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、261億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円の減少となりました。主な要因としては、借入金の返済等による現金及び預金の減少3億8百万円及び減価償却や敷金及び保証金の返還による固定資産の減少72百万円の減少要因に対し、クレジット売上増に伴う売掛金の増加81百万円及び秋物商材の仕入による商品の増加1億5百万円の増加要因によるものであります。

負債は、212億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加5億37百万円の増加要因に対し、短期借入金の減少6億88百万円、長期借入金の減少3億13百万円、長期預り敷金保証金の減少30百万円及び確定拠出年金分割移換金の拠出等によるその他固定負債の減少79百万円の減少要因によるものであります。

純資産は、49億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億86百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払37百万円の減少要因に対し、当第2四半期連結累計期間において四半期純利益3億28百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少し、8億93百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ2億34百万円減少し8億74百万円となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益5億56百万円、減価償却費2億6百万円、仕入債務の増加額5億37百万円及び固定資産除却損9百万円の増加要因に対し、たな卸資産の増加額1億5百万円、売上債権の増加額81百万円及び法人税等の支払額2億6百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1億12百万円(前年同四半期は17百万円の収入)となりました。主な要因としては、敷金及び保証金の回収による収入1億30百万円の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出1億59百万円、敷金及び保証金の差入による支出48百万円及び預り保証金の返還による支出17百万円の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ8億42百万円増加し10億71百万円となりました。主な要因としては、長期借入れによる収入9億70百万円の増加要因に対し、短期借入金の純減少額7億46百万円及び長期借入金の返済による支出12億25百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間(連結、個別)において、売上高が期初予想より減少いたしました。利益率の改善、販売費及び一般管理費の削減効果により、営業利益、経常利益、四半期純利益において期初予想を上回る結果となりました。この結果を踏まえ、平成24年4月12日に公表しました業績予想を修正いたします。また、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,843	955,785
売掛金	131,280	212,286
商品	4,566,621	4,672,053
その他	643,417	635,235
貸倒引当金	△2,374	△3,272
流動資産合計	6,602,788	6,472,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,017,955	3,940,226
土地	11,696,299	11,760,068
その他(純額)	180,639	199,702
有形固定資産合計	15,894,894	15,899,997
無形固定資産		
投資その他の資産	681,409	665,903
敷金及び保証金	2,566,091	2,495,545
その他	593,601	602,086
貸倒引当金	△133	△95
投資その他の資産合計	3,159,558	3,097,536
固定資産合計	19,735,863	19,663,437
資産合計	26,338,652	26,135,526
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,135,299	3,672,913
短期借入金	7,059,734	6,371,209
未払法人税等	224,434	243,323
ポイント引当金	159,279	164,790
その他	649,632	685,478
流動負債合計	11,228,380	11,137,713
固定負債		
長期借入金	8,569,514	8,255,785
退職給付引当金	640,485	664,354
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	82,117	82,857
長期預り敷金保証金	574,179	543,871
その他	573,172	493,637
固定負債合計	10,467,807	10,068,846
負債合計	21,696,187	21,206,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,039,700	1,331,112
自己株式	△232,317	△232,317
株主資本合計	4,597,382	4,888,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,081	40,171
その他の包括利益累計額合計	45,081	40,171
純資産合計	4,642,464	4,928,966
負債純資産合計	26,338,652	26,135,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	16,062,184	15,627,463
売上原価	11,441,881	11,107,900
売上総利益	4,620,303	4,519,562
営業収入	617,454	610,993
営業総利益	5,237,757	5,130,555
販売費及び一般管理費	4,318,424	4,359,385
営業利益	919,333	771,169
営業外収益		
受取利息	764	340
受取配当金	3,059	4,153
受取保険金	10,339	17,541
その他	7,683	4,764
営業外収益合計	21,846	26,800
営業外費用		
支払利息	176,618	182,862
支払手数料	—	50,000
その他	832	928
営業外費用合計	177,450	233,790
経常利益	763,729	564,179
特別利益		
固定資産売却益	111,811	—
賃貸借契約解約益	60	4,965
特別利益合計	111,871	4,965
特別損失		
固定資産除売却損	118,371	9,152
賃貸借契約解約損	88	—
投資有価証券評価損	—	3,508
災害による損失	125,905	—
退職給付制度改定損	50,159	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,696	—
その他	7,190	—
特別損失合計	339,411	12,661
税金等調整前四半期純利益	536,189	556,483
法人税、住民税及び事業税	286,920	225,562
法人税等調整額	△79,099	2,497
法人税等合計	207,820	228,060
少数株主損益調整前四半期純利益	328,369	328,422
四半期純利益	328,369	328,422

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	328,369	328,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,335	△4,910
その他の包括利益合計	△2,335	△4,910
四半期包括利益	326,034	323,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,034	323,512

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	536,189	556,483
減価償却費	211,396	206,989
支払利息	176,618	182,862
固定資産売却損益(△は益)	△105,248	—
固定資産除却損	111,808	9,152
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,696	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△245,100	△105,237
売上債権の増減額(△は増加)	△42,424	△81,005
仕入債務の増減額(△は減少)	692,298	537,613
その他	93,508	△51,344
小計	1,466,742	1,255,513
利息及び配当金の受取額	3,823	4,495
利息の支払額	△176,786	△178,952
法人税等の支払額	△183,896	△206,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109,883	874,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,000	—
有形固定資産の取得による支出	△106,365	△159,897
有形固定資産の売却による収入	357,099	—
無形固定資産の取得による支出	△2,390	△6,686
敷金及び保証金の差入による支出	△32,259	△48,010
敷金及び保証金の回収による収入	199,510	130,095
預り保証金の返還による支出	△296,017	△17,693
預り保証金の受入による収入	1,120	—
その他	△12,794	△10,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,902	△112,389
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△794,000	△746,500
長期借入れによる収入	1,650,000	970,000
長期借入金の返済による支出	△1,035,818	△1,225,754
社債の償還による支出	△25,000	—
その他	△24,419	△69,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,237	△1,071,646
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	898,548	△309,131
現金及び現金同等物の期首残高	984,770	1,202,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,883,319	893,762

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	10,379,842	3,341,583	2,506,952	437,324	16,665,702	13,936	16,679,639	—	16,679,639
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	6,534	6,534	36,965	43,499	△43,499	—
計	10,379,842	3,341,583	2,506,952	443,858	16,672,236	50,901	16,723,138	△43,499	16,679,639
セグメント利益	555,678	379,541	155,709	80,961	1,171,891	13,390	1,185,281	△265,948	919,333

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△265,948千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△265,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	9,924,699	3,295,020	2,600,672	405,685	16,226,076	12,379	16,238,456	—	16,238,456
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	6,534	6,534	32,700	39,234	△39,234	—
計	9,924,699	3,295,020	2,600,672	412,219	16,232,610	45,079	16,277,690	△39,234	16,238,456
セグメント利益	472,220	332,018	130,099	90,829	1,025,168	6,261	1,031,430	△260,260	771,169

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△260,260千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△260,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。